

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

シルバー劇団から「元気」をもらう

～高齢者大学全体講座～

市内4つの高齢者大学（高鷹大学、合川ことぶき大学、森吉大学、阿仁生き生き大学）の全体講座が2月16日、文化会館で開催されました。

はじめに、岩手県西和賀町社会福祉協議会の高橋純一事務局長が、平成11年から高齢者や障害者による社会参加促進と生きがいづくりを目的とした、シルバー演劇活動について講演しました。

高橋事務局長は「それまでは高齢者や障害者は鑑賞する側で、どちらかというと受身の活動が多かったが、自ら舞台に立つことにより、同じ世代や家族にとって



◀シルバー劇団「元気座」の舞台を楽しんだ高齢者大学全体講座

も大きな刺激になり、新たな生きがいづくりにもなっている」と紹介しました。

講演に引き続き「元気座」による「いつてらっしゃい 気をつけて（高橋純一・作）」を鑑賞。平均年齢74歳とは思えない熱演に会場からは大きな拍手が送られていました。

秋田県綱引選手権大会優勝

～綴子小イーグルスBチーム～

県立武道館で開催された県綱引選手権大会小学生ジュニアの部で綴子小イーグルスBチームが優勝しました。

小学生ジュニアの部は、小学5年生以下で、出場する8人の合計体重が360kg以下の規定。各対戦は3本勝負の2本先取で行われました。

同チームは予選ブロックを4戦4勝で一本も落とすことなく勝ち上がり、決勝トーナメントでも無敗という完全優勝を果たしました。

この大会の優勝で同チームは8月8日に東京駒沢オリンピック公園体育館で行われる「2010全日本ジュニア綱引選手権大会」の出場権を獲得しました。



◀秋田県綱引き選手権大会で優勝した綴子小学校Bチーム

主将の三沢紘太君は「全国大会では悔いの残らないようにがんばり、優勝を目指したい」と、力強く抱負を述べていました。

第83回浜辺の歌音楽館定期演奏会 村上フアンタジーコンサート



オペラ界で世界を舞台に活躍されているテノール歌手・村上敏明さんのご家族によるコンサートを開催いたします。父・敏雄さん（テノール）、母・悦子さん（ソプラノ、本市出身、兄・宣也さん（テノール）は皆さんそろって成田為三が教授を務めた国立音楽大卒であり、お住まいの日野市を中心にコンサート活動をされています。

成田為三ゆかりの曲をはじめ、イタリアオペラなどが演奏されます。春を告げる歌声をお楽しみください。

期 日 3月20日（土）
時 間 午後3時開演
会 場 浜辺の歌音楽館2階ホール
入 場 料 大人：1000円
高校生以下：500円
問合せ・チケット取り扱い
生涯学習課文化班 ☎62-6618
浜辺の歌音楽館 ☎72-3014
中央公民館 ☎62-1130

公民館講座

◇お申し込み・お問合せは各施設へ

■中央公民館 ☎62-1130

平成22年度「母と子のわくわく広場」

入園前（満1歳以上）の子どもと保護者を対象に、集団での遊び等（親子で体操・季節に合わせた作品作り等）を通じて親子のふれあいを大切にした活動をしています。また、子育て中の母親（保護者）の交流・情報交換の場にもなっています。

開 催 日 4月～3月毎月第2月曜日
時 間 午前10時～11時30分
講 師 石郷岡順子さん、村上美保子さん
対 象 入園前（満1歳以上）の子どもと保護者

定 員 30組
参加費 無料
申込期限 3月22日（月）

■合川公民館 ☎78-2114

「男の料理講座」

期 日 3月17日（水）
時 間 午前9時30分～午後1時
講 師 柏木昌晃さん
内 容 若い男性料理人に学ぶ、手軽でおいしい料理（和食）に挑戦。初心者大歓迎。

定 員 先着15名
持ち物 エプロン、三角巾、筆記用具
材料費 1500円程度
申込期限 3月1日（月）午前9時～
3月9日（火）午後5時

■森吉公民館 ☎72-3259

「悠久の調べ～日本の音楽を楽しむ」

日本の楽器でありながら接する機会が少ない雅楽を生で聴いてみませんか。

期 日 3月5日（金）
時 間 午前10時30分～12時
出 演 北秋雅楽会

▽第1部 雅楽を楽しむ
雅楽演奏と楽器の紹介
演目／越天楽等4曲
楽器／三管・三鼓他多数
▽第2部 日本の歌をうたおう
ピアノ伴奏で懐かしい歌や心に残る歌と一緒に歌いましょう。
伴 奏 金新佐久氏

「ダム湖に沈む遺跡の記憶」

森吉山ダム建設事業に係る発掘調査出土品展
平成23年完成予定の森吉山ダムの湖底に沈む遺跡のうち、特に縄文時代の出土品を中心として展示し、小又川の遺跡を振り返ります。

あわせて、イギリスの大英博物館、上野の東京国立博物館での展示より里帰りしたばかりの板状土偶も再展示します（入場無料）。

日 時 3月18日（木）～
6月1日（火）
時 間 午前9時～午後5時
場 所 文化会館資料展示室
問 合 せ 生涯学習課文化班
☎62-6618

ふるさとの文化財

25

北秋田市指定有形文化財（書籍・典籍） 「天保飢饉見聞実録」

◇所在地：北秋田市栄字太田50
◇管理者：13代長谷川佑司

この記録は、天保8（1837）年太田新田村8代長谷川伊右衛門（屋政）の編者による手書きの原稿本で、災害の記録です。天保4（1833）年元旦から始まった天変・異常気象を記録し、見たり聞いたりした近郷の飢饉による人々の悲惨な様子を記録しています。

天保4年、7月には大洪水、8月には東風による降霜・氷が張り、9月は台風と未曾有の青立凶作となりました。坊沢村では病人を含め882人の餓死者が出て、家数151戸が絶家し141戸に激減したといえます。この記録の特色は、人々の様子がカラーで描かれていることです。また南部津軽からの飢饉流民についてや、大坂でおきた「大塩の乱」（1837年）についてまで記録しています。

8代伊右衛門は優れた人物で、長百姓として村の政治に尽力し、天保6（1835）年の飢饉時には窮民救

済に努力し、郡方より羽織御免の御賞を受けています。また、学芸に優れ、『太田新田村由来記』『年代豊凶記』『歴代考考豊凶秘録』『当家歴代集』など多くの本を書いています。江戸時代の末には私塾「長谷川塾」を開き、村内外の子弟の教育に当たりました。享和2（1802）年から、これまでの紺屋から呉服商を営み大いに繁盛し、天保8年には持高32石4斗5升5合の高持となりました。

▽平成元年10月1日指定
▽資料／「鷹巣の文化財」、「栄郷土誌」「鷹巣町史」「天保飢饉見聞実録」ほか
▽紹介者／北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二



▲「天保飢饉見聞実録」